



# 社会的責任と貢献活動

ろうきんは、「人々が喜びをもって共生できる社会の実現に寄与する」と定めたろうきんの理念を実現するために、地域や社会への幅広い貢献活動を展開しています。



## 自然災害に係る取り組み

自然災害により被害を受けられたみなさまに心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い被災地の復興を心からお祈り申し上げます。

ろうきんでは、自然災害により被災された方に対して、以下の支援に取り組んでいます。

### 1. 融資関連の特別措置

(1)被災された方のろうきんのお取引先に関するご相談につきましても、お取引先のろうきんへの取次ぎ等、丁寧に対応させていただきます。

(2)被災された方の早期の生活安定と災害復旧を目的として、災害救援ローン(無担保・有担保)を取り扱っています。制度概要については、P25に記載しています。

### 2. 振込手数料の免除措置

ろうきんの窓口で、会員団体等が開設した義援金振込口座へ送金する際の振込手数料を免除しています。

### 3. 義援金の拠出

日本赤十字社沖縄県支部へ、東日本大震災、平成28年熊本地震、平成30年7月豪雨および、平成30年北海道胆振東部地震に係る義援金として、それぞれ30万円を贈呈しました。



## 生活応援運動の取り組み

### ◎多重債務対策の取り組み

全国13のろうきんと労金協会は、2007年に「生活運動・多重債務対策本部」を設置しました。その後も、ろうきん業態における統一施策として、多重債務に関する啓発・救済に関する活動を継続して取り組んでいます。

当金庫においては、高金利からの借換えだけでなく、ご相談内容によっては認定司法書士を紹介し、連携してご負担軽減のお手伝いをしています。また、会員職場での研修・学習会の開催、講師派遣等を通じて「高金利の危険性」や「身近に潜むマネートラブル」に関する情報を提供し、多重債務に陥らないための予防運動を進めています。



## 福祉金融機関としての融資制度

### ◎技能者育成資金融資

経済的な理由により、職業能力開発総合大学校や公共職業能力開発施設の行う職業訓練を受けることが困難な訓練生のうち、能力開発施設の長から推薦のあった方に対して融資することで、訓練生の経済的な負担の軽減を図り、職業訓練の受講を支援するための制度です。2011年5月から国との提携によって取り扱いを開始しました。制度概要については、P25に記載しています。

#### ●2018年度技能者育成資金融資利用状況

実行件数	29件
実行金額	30,750千円
融資残高	203,882千円

(注)「融資残高」は、年度末現在の残高を記載しています。

### ◎求職者支援資金融資

雇用保険を受給できない方で、国が実施する「求職者支援制度」に規定する訓練を受講中の場合、給付金では生活費が不足する方に対して必要な資金を融資し、生活の安定を図りながら再就職を支援する制度で、2011年10月から取り扱いを開始しました。制度概要については、P25に記載しています。

#### ●2018年度求職者支援資金融資利用状況

実行件数	5件
実行金額	2,050千円
融資残高	16,318千円

(注)「融資残高」は、年度末現在の残高を記載しています。

### ◎福祉ローン

「福祉ローン」は、2014年1月から育児支援ローン(育児期間中の子育て費用・育児休職中の生活資金等に利用ができるローン)の代替商品としながら、使いみちの対象範囲をこれまでより幅広くした融資制度となっています。制度概要については、P25に記載しています。

#### ●2018年度福祉ローン利用状況

実行件数	20件
実行金額	11,950千円
融資残高	49,621千円

(注)「融資残高」は、年度末現在の残高を記載しています。

### ◎ろうきん教育ローン奨学金借換専用「kukuru」

日本学生支援機構等の奨学金の借換を専用とした教育ローンで、2018年10月から取り扱いを開始しました。

#### ●2018年度「kukuru」利用状況

実行件数	30件
実行金額	68,800千円
融資残高	63,949千円

(注)「融資残高」は、年度末現在の残高を記載しています。

### ◎災害救援ローン

災害(地震・暴風・豪雨・土砂崩れ等の自然災害、または火災)における被災者の方の早期の生活安定と災害復旧を目的とした融資制度です。制度概要については、P25に記載しています。





## 地域社会の活性化に関する取り組み(地域と協働した社会貢献活動等)

### ろうきん 全労済 働く仲間のゆめ・みらい基金



沖縄県において深刻な問題となっている「子どもの貧困」と、その根本的な要因である「親の貧困」問題に対し、労働者が創りあげた福祉金融機関として真摯に向き合い、社会的役割を發揮していくため、会員団体および県内各労働団体とともに「ろうきん 働く仲間のゆめ・みらい基金」を創設し、2016年10月から(公財)沖縄県労働者福祉基金協会を事務局として運営を開始しました。

また、基金支援団体としてこくみん共済 coop(全労済)沖縄推進本部が加わり、2018年4月から名称を「ろうきん 全労済 働く仲間のゆめ・みらい基金」へ変更しました。当金庫は、基金の安定運営を会員団体・お客さまとともに支え、「共助」の輪を広げ、働く仲間とその大切な子ども達の笑顔につなげていきます。

### ろうきん・わしたシマづくり運動

2014年10月、自動機によるお取り引きに応じて寄付金額を積み立て、地域で活動する団体へ寄付することによりその活動を支援する「ろうきん・わしたシマづくり運動基金」を創設し、会員団体・ご利用者と当金庫が三位一体となった社会貢献活動に取り組みました。2018年度は16団体へ総額100万円を寄付しました。

「2018年度新規寄付先団体(順不同)」

	団体名	所在地
1	沖縄県聴覚障害児を持つ親の会	八重瀬町
2	特定非営利活動法人 かなえ	豊見城市
3	地域むすびくらぶ	宜野湾市
4	全国膠原病友の会沖縄県支部	那覇市
5	音韻ボランティアサークル アイアイなんじょう	南城市
6	コーダー道場名護	名護市
7	宮古島 緘黙っ子の親の会(ゆりの会)	宮古島市

### 環境への取り組み

#### ◎ 環境改善活動への取り組み

沖縄ろうきんは、2015年12月から電力やコピー用紙使用料の削減、環境保全に関する職員への教育啓発活動等、環境に対する意識・行動を高め、継続的に環境改善活動に取り組んでいます。

「ろうきん・わしたシマづくり運動」贈呈式



### その他の取り組み

#### ◎ 食品の贈呈

沖縄県労福協が取り組んでいる生活困窮者自立支援に役立てるため、株主優待として企業から届いた食品を沖縄県労福協へ贈呈しました。

これらの食品は沖縄県労福協を通じ、生活困窮の家庭や養護施設などに届けられます。



### 地区推進委員会のイベント

各会員団体・構成員のみなさまでつくる各地区推進委員会は、暮らしに関するセミナーや学習会、スポーツ交流、その他のイベントを主催しながら、地域や会員相互間にろうきんへの「共感の輪」を広げています。



名護地区推進委員会／  
第30回女性部・青年部ボウリング大会



宮古地区推進委員会／  
第18回ろうきんミニバスケットボール大会



八重山地区推進委員会／  
「ろうきん文庫」の贈呈



具志川地区推進委員会／  
第6回ろうきん杯学童軟式野球キッズ大会



与那原地区推進委員会／  
「ライフプランとお金との上手な付き合い方」  
会員学習会



おもろまち地区推進委員会／  
「茶話会」ろうきん担当者交流会